

さっそう 若旦那を発信

県内旅館の「若旦那」たちの個性と素顔を発信し、交流拡大や観光振興、地域活性化につなげようという取り組みが、県内で始まった。第1弾として、16人の若旦那の写真と人柄を掲載する冊子を製作する。7日に衣装合わせが行われた。冊子は10月に無料配布し、1番人気の若旦那を決める「総選挙」を実施する計画。将来的には果樹組合や米織組合などの青年部との連携も視野に入れている。

県旅館ホテル青年部 まず16人冊子で紹介

県旅館ホテル生活衛生同業 温泉の若旦那5人がつくった組合青年部の企画。本県の青「若旦那図鑑」にヒントを得た。同図鑑には各若旦那の素顔とプロフィール、相性診断や、会場の部員が協力すれば、発信なども掲載。フリーペーパー力のある事業ができるのでは、として配布し、集客につなげないかと模索し、福島県上湯でいる。県政課題の解決や地



「和」をテーマにした写真撮影を前に、衣装合わせする県内旅館の若旦那たち 二山形市・やしち屋山交ビル店

誘客ヘスクラム ■ 他業種連携も視野

域の元氣創出に関する若者の活動を後押しする県の「やまがた若者チャレンジ」応援事業」の助成を受け、同図鑑の本県版「やまがた若旦那」の創刊を目指す。

第1弾は「和」をテーマに、南陽市・赤湯や米沢市・小野川、山形市・蔵王温泉など12温泉地の16人分を掲載する。写真撮影に入るのを前に7日、山形市の着物専門店「やしち屋 山交ビル店」で衣装合わせを行った。購入費用は各部員の負担で、着物のプロにアドバイスをもらいながら試着した。冊子は3千〜5千部を製作し、10月に無料配布する。次号(本年度内発行)表紙の「センター」を懸けた「総選挙」を実施する予定。配布や投票の方法は今後詰める。古窯(上山)専務の佐藤太一(同青年部長37)は「若旦那との交流を通じた誘客だけでなく、県内にある多様な青年部と連携することで各部の活動を活性化させ、地域活性化につなげたい」と話していた。進ちょく状況は、同事業のフェイスブック (<https://www.facebook.com/waka.dna>) で紹介中。



★若旦那です